

スキトレ企画書

作成日：令和6年11月22日

校名：政序前校 企画者： 清田

活動名：ビー玉チャレンジ

本活動の着眼点

運動能力や歩行の安定性の向上 浮き足の防止

本人支援5領域とのつながり

健康・生活 認知・行動 運動・感覚
言語・コミュニケーション 人間関係・社会性

生活上の困り感 /目的・趣旨(ねらい)

<input type="radio"/> 走るのが苦手	<input type="radio"/> 足趾屈筋群強化による運動能力の向上
<input type="radio"/> 姿勢保持が困難	<input type="radio"/> 浮き足の改善、防止 ・バランス能力、平衡感覚を養う

活動の概要

【場所】

- ・各校活動室

【所要時間】

- ・1人約2分～3分

【人数】

- ・児童1人に対して職員1人

【対象者】

- ・片足立ちができる児童

【必要な道具】

- ・ビー玉 10個
- ・紙皿
- ・ストップウォッチ

活動の進め方

【スタッフの事前に準備する物・内容】

- ・片足立ちができる児童の把握
- ・靴下を履いているときは脱いでもらう

【進行方法・ルール】

- ・1つの皿にビー玉を10個入れる。もう1つの皿は空にしておく
- ・2つの皿の前にたち、スタートの合図でビー玉を足の指でつかみ空の皿に入れ替える
- ・1分間で移し替えることができた数を記録する
- ・逆の足で同じように移しかえてもらう。

スキトレ企画書

ルール

- ①足の指でビー玉をつかむ
- ②ビー玉を掴むときは1～2個ずつ掴む

【進行上の留意点】

- ・片足立ちになるタイミングで倒れないよう、スタッフは近くで見守りを行う
- ・ビー玉を複数個まとめてつかもうとする際には、1～2個ずつ掴むよう指示する

【役割：進行】

進行：1名

補助：1名

スタッフの着目点

- ・足の指でビー玉をしっかりとつかめているか
- ・片足立ちになった際にふらつきはあるか

活動を行う上での注意点

- ・ビー玉をつかむ際に片足立ちになるため、転倒しないように近くで見守りを行う。
- ・ビー玉をつかむことができない児童に対しては、やわらかいボールで行なってみる。

予算

- ・ビー玉
- ・紙皿

計100～200円

その他

- ・ビー玉は使用後必ず消毒を行う。
- ・片足立ちが難しい児童に対しては椅子に座って行うことも可